

日付 (LST)	測線 No.	時間 (LST)	曳航体				水深 (m) : A+B	海域	備考	
			緯度(10進数)	経度(10進数)	A:CTD 深度(m)	B:高度(m)				
2012/3/16 (Leg2)	DT-6 C	Start	8:36	38.49727	141.97518	316.7	3	319.7	仙台沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。
		End	16:00	38.57490	141.97490	315.9	3			
2012/3/17 (Leg2)	DT-7 C	Start	6:45	38.49785	142.04993	429.5	3	432.5	仙台沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。 Start、End 及び特異点の高度値は 3.0m 一定とする。 ①ドレッジャーを切り離し。
		①	12:23	38.55375	142.04992	421.3	3	424.3		
		End	12:30	38.55490	142.05013	420.2	3	423.2		
2012/3/18 (Leg2)	DT-8 C	Start	13:05	37.88202	142.33410	907.1	3	910.1	仙台沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。 Start、End 及び特異点の高度値は 3.0m 一定とする。 ①ドレッジャーを切り離した後、亡失。
		①	16:25	37.88325	142.29170	872.1	3	875.1		
		End	16:30	37.88315	142.29058	870	3	873		
2012/3/19 (Leg2)	DT-9 C	Start	6:43	38.83162	142.06662	339.6	3	342.6	仙台沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。 Start、End 及び特異点の高度値は 3.0m 一定とする。 ①ドレッジャーを切り離し。 海況悪化のため、7:45 に揚収を開始した。
		①	7:40	38.84145	142.07035	345.7	3	348.7		
		End	7:45	38.84232	142.07065	347.6	3	350.6		
2012/3/20 (Leg2)	DT-10 C	Start	6:54	39.24320	142.33538	881.2	3	884.2	大槌沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。 □ 曳航体の挙動が不安定のため、一旦揚収。 *この地点を次測線の開始予定点とする。
		①	8:50	39.24418	142.30852	789.8	3	792.8		
		②	10:07	39.24733	142.29003	733.4	3	736.4		
		③	10:46	39.24585	142.28085	716.2	3	719.2		
		④	11:03	39.24483	142.27722	716.4	3	719.4		
		□	12:05	39.24438	142.26303	671	3	674		
		□	13:00	39.24497	142.25293	627.3	3	630.3		
		End	13:03	39.24507	142.25240	620.8	3	623.8		
2012/3/20 (Leg2)	DT-11 C	Start	14:23	39.24472	142.25495	619.9	3	622.9	大槌沖	4KC による生物、瓦礫分布調査を実施。曳航高度は 3m、曳航速度は 0.6knt。 Start、End 及び特異点の高度値は 3.0m 一定とする。 ①DT-10C 測線終了地点通過。 ②変針点。 ③海底谷奥部を通過。 ④ドレッジャーを切り離し。
		①	14:37	39.24502	142.25308	627.4	3	630.4		
		②	16:00	39.24637	142.24007	562	3	565		
		③	16:20	39.24697	142.25372	553.5	3	556.5		
		④	16:55	39.24573	142.22958	505.7	3	508.7		
		End	17:00	39.24573	142.22883	503.9	3	506.9		